

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスむぎの家		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2026年 1月 13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、言語聴覚士が在籍し、こどもたちの発達特性や課題に応じた専門的な視点を取り入れた支援が行える体制が整っている。	専門職を含め、実務経験が豊富な児童指導員や保育士、教員免許保持者など様々な職員の連携により、個々に応じた支援内容での支援が行える。	専門性を活かしながら毎日個々に応じて専門的支援を行う。
2	近隣に運河の公園やノエピアスタジアムなど様々な自然豊かな施設がある。	安全を考慮した上で室内にだけでなく、近隣の公園などを利用し、遊びを通じてのルールや感覚統合による運動療育を行っている。	長期休みや土曜日など、学校が休みの時は近隣だけでなく様々な施設を活用したり、イベントを通じて5領域に沿った支援を行っていく。
3	勤務しているスタッフが充実しているため、子どもたち一人ひとりに応じた支援と環境づくりが出来る。	子どもたちの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、わかりやすい支援を心掛けている。おやつを選ぶ際、専用通貨を用いて買い物の練習などを行っている。	よりスタッフの専門性向上を図るため、外部研修や内部研修を行い充実化に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性職員が少ない。	トイレトレーニングなどの同性介助。	求人などを通しよりスタッフの充実を図っていくが、単に男性スタッフが良だけでなくしっかりと精査し、当社の支援を理解、実行していただける人材確保に向け善処する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスむぎの家

公表日 2026 年 1 月 20 日

利用児童数

19名

回収数

19部

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	0	0	雨の日以外は公園で活動してくれているので十分だと思います。	基本的な活動スペースは確保できています。子ども同士がぶつかることなく安全に活動できるよう工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	1		利用児童の人数や特性に応じて職員を配置し、安全面や支援の質に配慮した体制を整えます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	1		基本的な生活空間の構造化や設備面での配慮は行っていますが、今度も子どもたちの特性や成長に応じて、よりわかりやすく安全な環境となるよう改善に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	1		生活空間は日常的な清掃や整理整頓を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を保っています。また、子どもたちの活動内容に応じて空間を使い分け、安全に活動できるよう配慮していきます。
適切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1	0	0	ADHDのみの症状が強い場合専門的な対応は難しいようです。	子どもたちの特性に十分寄り添った支援が行えるよう、支援内容の振り返りを行い、職員の専門性向上や支援体制の改善に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		

な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	2		ガイドラインに沿った支援項目および具体的な支援内容を設定していますが、引き続き子どもたちの成長や環境の変化に応じて、計画内容の充実を図っていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	1		子どもたちの特性やその時々の様子に応じて活動内容を調整し、同じ活動に偏らないよう工夫しながら、柔軟なプログラム運営を行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	0	6		他の事業所との交流を行い、子どもたちが様々な人と関わる経験ができるように取り組んでいます。今後も安全面に配慮しながら社会性を育む機会を設けていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	2	6		日常のやり取りや連絡ツールを通じて、保護者様への情報提供や相談の機会を設け、今後も家族支援の充実の向けて取り組んでいます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	2	0	0		日常的な情報共有に加え、必要に応じて面談や相談の機会を設け、子どもたちの健康や発達について保護者様と共通理解が持てるよう努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	0	1	通い始めて半年以上お互いに面談の申し入れがなかったため12月より定期的に実施予定	定期的な面談に加え、日頃のやり取りの中でも相談や助言を行い、保護者様を支える家族支援にも努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	4	6	保護者会などではなくてもいいと思います	イベントや行事などに招待し、交流できる場を設けて機会を増やしていきます。

	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	2		日頃から相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、こどもたちや保護者様からの相談に対応できる体制を整えていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	0	0		こどもたちや保護者様との意思疎通を大切にし、わかりやすい言葉や方法を用いて情報伝達を行うなど、状況や特性に応じた配慮を行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	2		定期的にSNSやお便りを通して行儀や活動報告を発信しています。今後もわかりやすい情報発信に努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		個人情報の取り扱いには十分に留意しています。今後も引き続き留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	4	訓練について詳細はわかりませんが されていると思います	さまざまな訓練を実施しています。保護者様に周知していただけるよう情報共有や発信に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	6		色んな災害時に備え、定期的に訓練、研修を行っています。今後も継続して行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	3		こどもたちが安心して過ごせるよう、安全に関する取り組みを大切にしながら支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2		事故や怪我が発生した際には、電話等により速やかに連絡を行い、発生状況や対応内容について分かりやすく説明していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	友達もたくさんでき先生方もとてもし たっていて安心できる居場所と思われ ます	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	学校を休みたがっても放デイは行きた いと好きな所となっています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスむぎの家

公表日 2026 年 1 月 20 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	パーティションの利用等	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0		
適切な支援の提 示	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	時短勤務のため支援終了後ではないが、気付いた時点で共有している	送迎後は必ず事業所に戻り、職員同士で話し合える場を設けます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	13	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0		
関係機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0		

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13	0		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	13	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		



保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	1		イベントや行事などに招待し、交流できる場を増やします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	0		
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0		